

## 新型コロナウイルス感染症対策に係る取組

- 1 感染拡大防止対策（総務局）
- 2 **都民の生命と健康を守る対策（福祉保健局）**
- 3 主な経済対策・セーフティーネット強化策（産業労働局）

## 東京 i C D C を核とした感染症対策について (1)

- ・ 調査・分析、情報収集・発信など、効果的な感染症対策を一体的に担う常設の指令塔として、令和2年10月に東京 i C D C を立ち上げ
- ・ 専門分野ごとのチームを設置し、専門的な知見に基づき様々な活動を展開するとともに、エビデンスや最新の科学的知見に基づき、政策に繋がる提言を実施

### < 専門家ボード等の設置 >

- ① 疫学・公衆衛生、
  - ② 感染症診療、
  - ③ 検査・診断、
  - ④ リスクコミュニケーション、
  - ⑤ 感染制御、
  - ⑥ 微生物解析、
  - ⑦ 研究開発、
  - ⑧ 人材育成の8つのチームのほか、
- ゲノム解析に関する検討チーム、後遺症等に関するタスクフォース等を設置

## 東京 i CDC を核とした感染症対策について (2)

### <主な活動内容>

- **都内主要繁華街における滞留人口モニタリング**  
(疫学・公衆衛生チーム)
- **都民意識アンケート調査** (リスクコミュニケーションチーム)
- **病院・高齢者施設等への支援チームの派遣・対策の助言**  
(感染対策支援チーム)
- **都民向け感染予防ハンドブック、自宅療養者向けハンドブックの作成・配布** (感染制御チーム)
- **変異株スクリーニング検査の実施による発生状況の把握**  
(ゲノム解析に係る検討チーム)
- **後遺症に関する情報収集・実態調査、後遺症リーフレットの作成・配布**  
(後遺症タスクフォース)

## 相談体制の整備について

- ・ 感染について不安に思う方や、発熱等の症状を呈した方からの相談に対応し、かかりつけ医のいない方には、必要に応じ医療機関を案内する体制を整備

### <相談体制の整備>

- 都民からの一般的な相談に応じる**新型コロナコールセンター**を設置  
(毎日/9時~22時)
- 発熱等の症状のある方からの相談への対応・医療機関の案内等を行う  
**東京都発熱相談センター**を設置 (毎日/24時間)
- 専用ダイヤルを設け、**新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)**  
の通知を受けた方からの相談にも対応

## 検査の戦略的展開について

- ・ 感染拡大時も検査需要に対応できる体制を確保するとともに、重症化リスクの高い方がいる施設や、感染拡大が想定される場所で戦略的に検査を実施

### ＜検査の戦略的展開＞

- **健康安全研究センターや民間検査機関等の体制整備を促進し、1日当たり最大9.7万件の検査処理能力を確保**
- **診療・検査医療機関**を指定し、身近な地域で検査を受けられる体制を整備
- **り患した場合に重症化するリスクの高い高齢者・障害者が利用する施設や病院等**で従事する職員等を対象とし、**集中的・定期的な検査**を実施
- **繁華街・交通結節点・大学・学生寮等での無症状者を対象としたモニタリング検査**を国と連携して実施するほか、都独自でも機動的に実施
- **下水道局と連携し下水中のウイルス検出のための採水・分析**を実施

## 医療提供体制の確保等について(1)

- ・ 通常医療や救急医療体制を維持しながら、感染状況に応じ段階的に病床確保を行うとともに、医療機関への支援や病床の効率的利用のための対策を実施
- ・ 都内における急激な感染拡大を受け「緊急時の体制」に移行

### ＜病床の確保・効率的利用＞

- 新型コロナ患者を重点的に受け入れる**入院重点医療機関**を指定し、病床を確保するとともに、**病床確保料**や体制整備のための補助金等による支援を実施
- 新型コロナ感染症の回復期以降も、引き続き入院を必要とする患者の転院を積極的に受け入れる**回復期支援病院**を確保し、病床を効率的に活用

### ＜緊急時の体制への移行＞

- 症状に応じた患者受入のための「医療機関の役割の明確化」、医療機能を強化した施設の設置等による「宿泊療養施設の重点化」、入院待機者等へのフォロー体制強化など「自宅療養者のフォローアップ体制の拡充」を柱とした取組を推進
- 都内医療機関に対し、厚生労働大臣・都知事による**感染症法に基づく協力要請**  
(最大限の患者受入、更なる病床確保、人材派遣、ワクチン接種への協力等)

## 医療提供体制の確保等について（2）

- ・ 宿泊療養施設の医療機能の強化を図るとともに、自宅療養者の容体悪化に備え、往診体制の確保や救急搬送要請時の一時受入体制の確保等を図る。

### <宿泊療養・自宅療養体制の強化>

- 酸素濃縮装置を多数配備し、夜間に医師が往診する体制をとるなど医療機能を強化した**往診型宿泊療養施設**を整備
- 入院待機となった患者を一時的に受け入れる**TOKYO入院待機ステーション**を整備
- **自宅療養者フォローアップセンター**による食料品配送やパルスオキシメーターの貸与等を行うとともに、医師会等の協力を得た**往診体制**を拡充
- 救急搬送要請のあった自宅療養者を一時的に受け入れ、酸素投与や輸液投与等を行う**酸素ステーション**を整備
- 入院重点医療機関等（外来による投与も実施）のほか、宿泊療養施設を臨時の医療施設とし、**抗体カクテル療法**を実施する体制を確保

## 保健所機能の強化について

- ・ 新型コロナウイルス感染症に係る相談対応や受診案内、積極的疫学調査や健康観察など保健所の感染症対策機能を的確に発揮できるよう支援

### <保健所機能の強化・支援>

- **新型コロナウイルス感染症の発生により業務負担が増大した保健所への支援のため、都から業務支援のための応援職員を派遣**
- **人材派遣を活用し、保健所に保健師等を配置。保健所設置区市に対しては、看護師等の雇上経費や業務委託経費への支援を実施**
- **積極的疫学調査等の業務を担う保健師・看護師等をトレーサー班として採用都保健所や保健所支援拠点へ配置**
- **事務の自動化・電子化を図り、保健所業務におけるデジタル化を推進**
- **入院調整本部を設置し、保健所からの依頼に基づき新型コロナウイルス患者の入院先医療機関を調整**



## ワクチン接種の促進について

- ・ 区市町村や医師会等の医療関係団体とワクチンチームを設置し、地域ごとの課題などの情報共有や意見交換を行いながら、緊密に連携し様々な取組を推進

### <区市町村等の取組支援>

- 集団接種会場の確保支援として、**都有施設を無償で貸与**
- **医療機関**における個別接種を促進するための**協力金を支給**
- 医師・歯科医師に求人情報の提供を行う**ワクチン人材バンク**を設置
- 看護協会等と連携して、歯科医師等に対し**筋肉内注射の実技研修**を実施

### <都による大規模接種会場の設置>

- 現在、都庁展望室をはじめ**都内17か所の大規模接種会場**を設置
- 教育関係者、生活関連サービス等従事者、妊婦等へ接種
- **大学や企業団体と連携**し、学生や中小企業従業員へ接種
- **渋谷に若者接種センター**を設置し、都内在住・在勤・在学の若者へ接種

### <その他>

- **副反応相談センター**を設置、二次保健医療圏ごとに**専門的医療機関**を確保

## その他の取組について

- ・仕事を失い生活困窮等により不安を抱えている方に寄り添い、都民生活を支えるセーフティネット対策を強化
- ・高齢者施設等における感染防止対策や発生時の応援体制の確保等を推進

### <セーフティネット対策の強化等>

- ネットカフェ難民等の住居喪失者や仕事を失った方への対応として、相談窓口拡充や緊急的にビジネスホテル等**一時宿泊場所の提供等**を実施
- 休業等による一時的な資金需要に対応するため、**生活福祉資金の特例貸付**を実施
- 感染した妊産婦に対し、助産師・保健師等が**電話や訪問等による寄り添い型支援**を実施
- 高齢者施設、障害者施設、児童福祉施設等における**感染症対策経費を補助**、施設等での患者発生時に**応援職員の派遣調整**を行う仕組みを構築